



# ソフトウェア業

COMPUTER PROGRAMMING AND OTHER SOFTWARE SERVICES

## ソフトウェア業とは

ソフトウェア業は、日本標準産業分類において、「情報通信業」(大分類)の中の「情報サービス業」(中分類)のひとつで、ソフトウェア業の中でも「受託開発ソフトウェア業」「組み込みソフトウェア業」「パッケージソフトウェア業」「ゲームソフトウェア業」に区分されています。

### 受託開発ソフトウェア業

顧客の委託により、電子計算機のプログラムの作成およびその作成に関して、調査、分析、助言などならびにこれらを一括して行う事業所

### 組み込みソフトウェア業

情報通信機械器具、輸送用機械器具、家庭用電気製品等に組み込まれ、機器の機能を実現するためのソフトウェアを作成する事業所

### パッケージソフトウェア業

電子計算機のパッケージプログラムの作成およびその作成に関して、調査、分析、助言などを行う事業所

### ゲームソフトウェア業

家庭用テレビゲーム機、携帯用電子ゲーム機、パーソナルコンピュータ等で用いるゲームソフトウェア(ゲームソフトウェアの一部を構成するプログラムを含む。)の作成およびその作成に関して、調査、分析、助言などを行う事業所

## 許認可

創業時に、特に資格は必要ありません。雇用形態によっては労働者派遣事業の許可が必要です。



### 事業計画のポイント・留意点

「ソフトウェア開発」の創業計画書例を掲載しています。

業務請負で受注するためには、顧客との信頼関係や高い技術力が求められます。リスクを分散するためにも1社への依存比率を低下させることがポイントです。大規模な案件を受注する際、開発期間や支払サイトによっては外注費、人件費などの運転資金が増加することに留意してください。



# ソフトウェア業(ソフトウェア開発) 創業計画書例

顧客番号  -   
(創業関連保証・再挑戦支援保証用)

## 創業・再挑戦計画書

大阪信用保証協会 御中

令和  
西暦 ●年 ●月 ●日  
(どちらかに○印を付けてください)

(申込人)

創業関連保証・再挑戦支援保証の申込みにあたり、以下のとおり創業・再挑戦計画を提出します。

住所 ○○市○○町○-○

会社名 株式会社 大阪

氏名または 代表者名 大阪 太郎

## 1. 事業概要

開業形態	個人事業 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 会社事業	商号(個人) 会社名(会社)	株式会社 大阪
開業(予定)住所	○○市○○町○-○		電話 06 (XXXX) XXXX
開業届出(個人) 設立登記(法人)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	令和 西暦 ●年 ●月 ●日
業種	ソフトウェア業	資本金	[会社設立(予定)の場合] 350万 円
許可等 [許可等取得が必要な場合]	(種類) (許可・免許・登録・認証の別を記入)	(根拠法)	[取得すべき許可等の根拠法を記入(例)食品衛生法]
従業員数	1 名	取扱品	ソフトウェア開発
開業動機・目的	前職では15年にわたり業務システムの開発に従事してきた。しかし、業務委託の開発から撤退して、派遣事業に集中する方針になったため、社長の理解も得て既存案件含めて独立し引き継ぐこととなった。		
開業に必要な知識、 技術、ノウハウの習得	15年にわたる業務システム開発における折衝からプログラムまで一貫した経験と実績により培った顧客との信頼関係。 ITストラテジスト、Oracle Master Platinum 資格保有。		
[会社設立予定の場合] 出資者・出資額	大阪 太郎...350万円		
事業協力者の住所・ 氏名・勤務先			

## 2. 創業準備の着手状況 [下記の該当事項に○印を付けて下さい]

- ア 設備機械器具等発注済である。
- イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
- ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
- エ 商品・原材料の仕入を行っている。
- オ 事業に必要な許認可を受けている。
- カ 事業に必要な許認可取得未了(許認可取得見込み(申請状況や取得予定時期等)を具体的に記入してください。)
- キ その他(具体的に記入して下さい)

3. 必要な資金及び調達の方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
設備資金 不動産取得費、内装工事費、敷金、入居保証金、機械設備、什器備品など(内訳) 入居保証金 1,500千円 内外装工事費 300千円 PC・周辺機器 1,000千円 その他 200千円	3,000千円	普通預金	2,000千円
		定期性預金	千円
		有価証券等	千円
		入居保証金等	1,500千円
		設備充当等	千円
		その他	千円
		小計(A)	3,500千円
		親戚・知人等からの借入(内訳)	千円
		金融機関からの借入(内訳)	千円
		〇〇銀行△△支店	4,000千円
運転資金 仕入資金、経費支払資金など(内訳) 外注工費 1,080千円 人件費 2,250千円 家賃 450千円 その他経費 720千円	4,500千円	〇〇銀行△△支店	4,000千円
		千円	千円
		千円	千円
		千円	千円
		千円	千円
小計(B)	4,000千円		
合計	7,500千円	合計(C)=(A)+(B)	7,500千円

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

自己資金から支払い済みの設備資金等を記入します。

1年間の外注工費の平均(3か月分)とした。

今回の資金調達計画における借入金等を記入してください。

・人件費  
役員報酬400千円+従業員1名350千円)×3か月  
・家賃 3か月分  
・その他経費  
経費(220千円)×3か月+予備費60千円

※事業開始前または事業開始後2か月未満の場合は、創業に必要な資金を全て記載してください。  
※左右の合計は、必ず一致させてください。

4. 収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕入高	千円	売上高	21,700千円
外注工費	4,340千円	工賃収入	千円
人件費	11,450千円	雑収入	千円
その他費用	4,440千円		
利益	1,470千円		
計	21,700千円	計	21,700千円

【客数・単価根拠より】  
新規開発 19,000千円  
保守案件 2,700千円

売上の20%と設定

※利益から借入金を返済します。初年度に十分な利益が見込めない場合、2~3年後を含めた中期計画が重要となります。

5. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
〇〇(株)	年 7,000千円	検収後翌月〇日現金回収	(株)〇〇	年 3,100千円	月末締め翌月〇日現金払
〇〇システム(株)	年 5,000千円	検収後翌月〇日現金回収	〇〇ソフト(株)	年 1,240千円	月末締め翌月〇日現金払
その他	年 9,700千円	検収後翌月〇日現金回収		年 千円	

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

6. 借入金等状況(※)

借入先等	資金用途	借入残高	残存返済期間	年間返済額
〇〇信用金庫	自動車ローン	3,000千円	30ヶ月	1,200千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください。(経営者本人が負担している保証債務も含まれます)

7. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入してください)

顧客との信頼関係が重要な業界であり、納期は必ず守るように努める。
従業員は1名であり、月1件しか対応できないが、折衝からプログラムまでを当社で行うため、利益率が高い。
半年後には従業員を1名増やし、月2件の受注に対応できる体制を整える。
従業員も業務システム開発の経験が長く、品質には自信がある。

■客数・単価根拠

【新規開発】

単価1,000千円

毎月1件、6か月目から月2件受注

※主要取引先の元請から複数案件の受注見込みはあるものの、従業員1名の2名体制では1件が限界。そのため、6か月後に1名追加雇用し、月2件を受注する。

【保守案件】

単価30千円

1か月目は5件(前職からの引継ぎ見込み)

3か月目以降、2か月毎に1件ずつ増(新規顧客の50%の追加見込み)

外注費 売上の20%

役員報酬: 400千円/月

人件費: 350千円/月

(創業時1名、6か月目から1名追加雇用)

家賃: 150千円/月

その他経費: 220千円/月

(通勤交通費50千円/月、光熱費40千円/月、

ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)